

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第三中学校

校長名 梅 木 仁

令和5年度教育課程

標記の件について、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

(1) 教育目標

人間尊重の精神を基盤とし希望に満ちた社会をめざす健康で明るく知性ある人間を育成する。

- 1 思いやりのある生徒 (深く) 考える力「思考力」
- 2 主体的に学び行動する生徒 (考えたことを) 行動に移す力「行動力」
- 3 協力する生徒 人間関係をつくる力「人間(じんかん)力」

(2) 教育目標を達成するための基本方針

「一人一人が輝く三中」のスローガンの下、教職員が一丸となり、地域との協働を進めながら、激しく変化する社会の中で志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を生徒一人一人に確実に育む教育活動を実践する。

ア 思いやりのある生徒を育てるために、道徳科を要とし、各教科を通して、考え、議論する力を養うとともに、体験活動を充実させ、奉仕の心と規範意識を育成する。また、人権尊重を意識した教育活動を展開し、自尊感情や自己有用感を高めさせ、自分の大切さとともに他の人の大切さも認める態度を育むことを通して、豊かな心を育成する。

イ 主体的に学び行動する生徒を育てるために、生徒の学びの目的、手段、過程に着目し、主体的・対話的で深い学びを展開しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を基盤として、これからの時代に柔軟に対応できる「思考力・判断力・表現力等」及び実践力と、これからの時代に必要な資質・能力を育成する。

ウ 協力する生徒を育てるために、学校行事や生徒会活動等の特別活動を軸に、生徒の主体的な活動を推進するとともに地域との協働を進め、多様な人々とのつながりを意識しながら、よりよい生活や人間関係を築こうとする態度を育てる教育活動を展開する。

エ 生徒一人一人を輝かせるために、

(ア) 体力テスト等を活用して、生徒一人一人に明確な目標を設定させ、自身の体力向上の取組を更に推進する。

(イ) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動を展開し、生徒一人一人の特性をより有効に生かす取組を進め、長所に転換させていく。

(ウ) 特別支援教育を充実させるため、特別支援教育校内委員会や個別のケース会議、SC等と特別支援教室、特別支援学級の目的を一体化するとともに役割を明確にし、生徒一人一人のニーズに沿う指導を展開する。